独立行政法人
国立病院機構盛岡病院

地域医療連携室だより

No. 25
（平成３０年１月発行）

新年のご挨拶

国立病院機構盛岡病院
地域医療連携室長　水　城　まさみ

地域の医療機関、施設のスタッフの皆様、明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い致します。

昨年は寒さが早くきましたが、その後は気温、気象の変化が激しく、体調を崩す患者さんが多かったです。今年は介護保険制度や医療保険制度の改訂に伴い、介護保険で「要支援」の方の負担が増えたり、ある程度以上の収入がある高齢者の窓口負担が増えたり、生活保護についても、生活保護を受けていない低所得者のレベルに引き下げる可能性が出てきたりで、将来についていろいろと不安を感じていると話される患者さんが以前より明らかに増えてきているように思います。地域で診療をされている先生方や医療相談員の方、看護師はじめ医療スタッフの方々も同様ではないかと思います。特に独居や高齢者夫婦世帯では、ご家族が遠くに住んでいたり、経済的にも援助を得られない方が増えてきて、退院調整の際にご自宅に戻るのは困難な病状であっても、経済的理由により入所できる施設がなく地域医療連携室スタッフで途方に暮れてしまうことが出てきました。このような場合には、かなり無理な条件であってもやはり自宅へ退院ということになります。当院で退院前のケア会議を行いますが、このような困難例をお願いすることが多くなり、地域の先生方には大変ご苦労をおかけすることになりますが、快く受け入れて下さって大変感謝しています。

今年も入院が必要になった患者さんについては、「安心カード」を持っている患者さんだけでなく、「安心カード」を持っていない患者さんで在宅での治療が困難と判断された場合についてもさらに迅速かつ円滑な入院受け入れができるよう地域医療連携室スタッフで対応していきますので、ご気軽にご連絡下さい。

盛岡病院は今年も地域の医療機関、施設のスタッフの皆様と密接に連携を取って、地域のみなさまに開かれた頼りがいのある病院となるように職員一同精進していきますので、よろしくお願い致します。

●病院理念●
生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する

●基本方針●
①安心・安全な医療を提供します。
②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

診療科目紹介　呼吸器内科

呼吸器内科医師
髙　原　政　利

新年明けましておめでとうございます。

昨今の超高齢化社会を迎え我々呼吸器内科医が活躍する機会が増えておりますが、多忙ゆえに日本全体での呼吸器内科医の数は急速に減少しております。その中でも当院では呼吸器内科常勤医が7名も在籍し、全国的に見てもとても在籍数が多い現状です。これもひとえに日頃より皆様から盛岡病院呼吸器内科へのご理解とご協力の賜と考えております。心より感謝申し上げます。

さて、呼吸器科で取扱う疾患は多岐にわたります。疾患を大きく分けると呼吸器感染症(肺炎、肺結核、非結核性抗酸菌症、肺真菌症など)、閉塞性肺疾患(COPD、気管支喘息など)、間質性肺疾患(特発性間質性肺炎、薬剤性肺障害、膠原病関連間質性肺疾患、サルコイドーシスなど)、腫瘍性肺疾患(肺癌、悪性胸膜中皮腫)、胸膜疾患(種々の原因による胸膜炎、気胸など)がありますが、ここ最近のトピックスとしては肺癌に対する薬物療法(抗がん剤)の進歩が挙げられます。

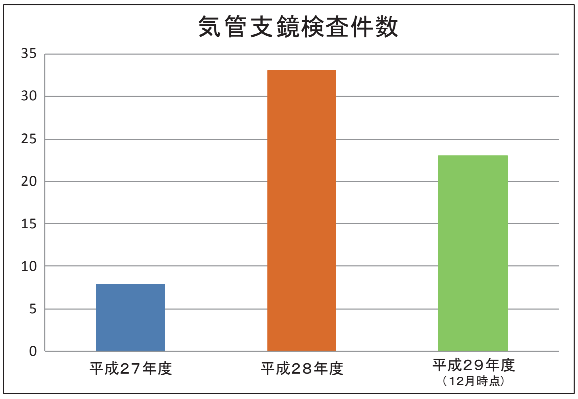
肺癌は2016年の時点で、現在日本人における癌の死因の第1位です。今後さらなる高齢化に伴い、その数はますます増加することが予想されます。特に進行期肺癌での予後の改善が急務であるこの領域に対し、ここ数年間で従来の、点滴による標準的治療薬より副作用も少なく生存期間の延長が期待できる分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬などの経口抗がん剤の開発が加速しました。肺癌診療ガイドラインでは、基本的にこれらの薬剤は肺癌の初回治療で使用することが勧められており、検査による正確な診断と薬剤内服の適応/不適応に関しましても正確な把握に努めなければなりません。

検査に関しましては気管支鏡検査が主であり、当科は盛岡市肺がん検診2次医療機関にも指定されており、気管支鏡検査を積極的に行っております。図1は過去3年分の気管支鏡検査数の推移ですが、その件数は増加しています。

残念ながら抗がん剤も含め当科で肺癌に対する積極的な治療を行うことはできませんが、安全で不安や息苦しさなどの苦痛の少ないかつ、確実に診断を下せるような気管支鏡検査を目指し、今後も日々精進して参ります。また、速やかに治療が受けられるよう、今後も引き続き近隣病院との連携を密にしていきたいと考えております。

もちろん当科ではその他呼吸器疾患に対しましても積極的にカンファレスを開き、必要な検査等を検討し、患者さんにとって最良の治療を提供できるよう日々心掛けております。

最後になりましたが、今後も地域の皆様に安心・安全でかつ高度な医療を提供できるよう尽力して参ります。皆様のご多幸をお祈りしつつ、本年度も盛岡病院呼吸器内科をどうぞよろしくお願い致します。



平成29年度 結核医療研修会を開催しました

今回で18回目となる平成29年度の研修会を12月２日(土)に岩手県民情報センター（アイーナ）８階で開催しました。

当日は気温が低く肌寒い初冬の曇り空の中、病院・診療所や介護施設、保健所から医師・看護師が85名の参加がありました。

今年度の研修会も、当院結核病棟看護師長、岩手県の感染症担当者、結核医療専門医に講演をお願いしました。

菊池院長の挨拶に始まり、講演１『結核患者の初期講座～結核患者が発生したら～』では、当院結核病棟　高橋當子看護師長に結核患者が疑われる患者が発生した場合の対応、個々の感染対策、予防策について講演いただきました。

講演２『岩手県の結核の現状について』では、岩手県保健福祉部医療政策室感染症担当　千田江美様から罹患率、年齢別登録患者数、医療従事者の罹患率、集団感染例等のデータをもとに全国平均と比較した岩手県の現状と課題について講演していただきました。

休憩をはさみ最後に、講演３『グローバル化が進むなかの結核医療～日本における外国人結核、多剤耐性結核』では、国立病院機構東京病院　小林信之統括診療部長から講演していただきました。
世界の各学会参加時に空いた時間を利用しての趣味のサッカー観戦したスタジアムの写真紹介やエピソードを交え、世界の結核の現状、在留外国人を含む日本の結核の現状と課題、さらには多剤耐性結核、デラマニド（大塚製薬）による多剤耐性結核治療等についてグローバルな視点からの講演内容でした。
後半では、清瀬市に所在する東京病院の敷地内に残っている木造小屋「外気舎」を清瀬市が平成26年２月に市有形文化財に指定したこと、世界から結核を守ってきた誇らしい場所として清瀬市が世界遺産登録を目指していること、さらには「外気舎」での当時（昭和14年頃）の結核患者の療養生活状況が記録された貴重な映像が紹介されました。

講演の他には、講演会場の奥に結核病棟、薬剤科、研究検査科による展示コーナーを設け、DOTSノート、N95マスク、抗結核薬の関連資料、結核菌群検出検査や結核菌に関するデータ、学会等での発表資料等の展示を行いました。

毎年開催してきている結核医療研修会ですが、例年同様に参加者の関心が高く、当研修会、当院に対する期待の高さを感じるともに。今後も引き続き、結核に関する啓蒙活動、情報発信を岩手県とともに実施していく責務があると感じた研修会でした。

管理課長　豊田　篤

国立病院機構盛岡病院　診療担当医一覧表

平成30年1月1日現在

●受付時間　8：30～11：00（急患については随時対応）

※電話による予約受付時間：13：00～17：00　**専用電話：019－645－4564**

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約下さい。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
呼吸器内科／一般内科	午前	新患	髙原政利	守口　知 梅沢　純	水城まさみ 梁井　香	山田博之	☆東北大学 呼吸器内科医師
		再来	山田博之	水城まさみ	菊池喜博	守口奈緒美	－
			(9:15～) 菊池喜博	守口　知	－	水城まさみ	－
			－	－	－	山田博之	－
循環器内科	午前	新患・再来	－	－	(13:30～) ☆田巻健治	☆東北大学 循環器内科医師	☆東北大学 循環器内科医師
内科（糖尿病・内分泌内科）	午前	新患・再来	－	－	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科 医師	－	－
化学物質過敏症 環境アレルギー	午後	再来	－	－	－	－	水城まさみ
消化器内科	午前～午後3時	新患・再来	－	宍倉かおり	－	塩塚かおり	

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
リウマチ科 （内　科）	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行	－	千葉実行
整形外科・ リウマチ科 （整形外科）	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦	本田剛久	大山素彦	☆大竹高行 （第1・3・5週） 大山素彦 （第4週）
			穐元　崇	佐藤研友	佐藤研友 （第1･3･5週）	穐元　崇	佐藤研友
			本田剛久	本田剛久 （第3週）	穐元　崇 （第2･4週）	－	本田剛久
		再来	☆小山田喜敬	－	－	－	☆小山田喜敬
脊椎外来	午前2時～午後4時	新患・再来	－	－	－	大山素彦	－

※脊椎外来は、１日１０名までの予約制となります。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
小児科	午後	新患・再来	☆和田博泰	－	－	－	－

※特殊外来(乳児健診、予防接種、出産前の小児保健指導)は毎週月曜日の一般診察の中で行います。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
リハビリテーション科	午前	新患・再来	－	☆山口一彦	－	☆山口一彦	－

「☆」は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡病院
岩手県盛岡市青山一丁目２５番１号
病院代表　TEL　０１９－６４７－２１９５
ＦＡＸ　０１９－６４６－１１９５